



## AMSR2 海面水温(SST)プロダクトの マイナー・バージョンについて

令和4年7月27日  
宇宙航空研究開発機構

令和4年7月27日より AMSR2 海面水温 (SST)の高次プロダクト(レベル2、レベル3)について、SST version 4.410.410(以下 Ver4.1)へマイナー・バージョンアップを行い、リリースいたします。なお、同時に予定していた降水量のメジャー・バージョンアップについてはスケジュールを再調整中です。

### ◆ SST マイナー・バージョンアップに伴う主な変更点

- (1) 陸域からの放射の影響の計算をより精密化しました。
- (2) 風と大気の補正を変更し、強風域や弱い降水域での海面水温推定が可能になりました。
- (3) 北半球に近年見られた輝度温度トレンドに対応しました。
- (4) 人工電波干渉 RFI 判定の見直しを行いました。
- (5) SST ファイル名(グラニューール ID)のバージョン情報変更

レベル2 とレベル3 の SST プロダクトのみ、ファイル名に含まれるバージョン情報を「4410410」に変更します。

レベル3 SST プロダクト(0.1 度格子)の例：

(旧) GW1AM2\_20220630\_01D\_EQOA\_L3SGSSTHB4400400.h5

(新) GW1AM2\_20220630\_01D\_EQOA\_L3SGSSTHB4410410.h5

### ◆ 検証結果の詳細について

変更点の詳細と精度評価の結果については、下記リンクに掲載されます。

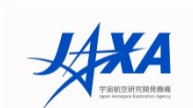
[https://suzaku.eorc.jaxa.jp/GCOM\\_W/data/w\\_productinfo\\_j.html](https://suzaku.eorc.jaxa.jp/GCOM_W/data/w_productinfo_j.html)

### ◆ 新バージョンプロダクトの提供について

新バージョンは、令和4年7月27日(6:00UT)にG-Portalより提供開始いたします。但し、正確なバージョン切り替え時刻には不確実性があることをご容赦下さい。G-PortalのFTPにおいては、新バージョンプロダクトは現在の提供フォルダと同じ場所に格納されません。なお、バージョン切り替え時に、プロダクトの提供停止は発生しません。

◆ 過去の観測データ再処理について

SST については、今回のマイナー・バージョンアップでは再処理は行いません。そのため、輝度温度トレンドに対応した北半球の一部海域では、新バージョンへの切り替えのタイミングで SST の時系列に多少ギャップが生じる可能性がありますので、ご注意ください。詳細は、上記の「検証結果の詳細について」をご覧ください。このギャップについては、次回メジャーアップ時に過去分の再処理を行うことで、対応する予定です。



Japan Aerospace Exploration Agency